



JHP行動基準

私たちは、地球的視野を持って活動します。

- *開発途上国の人々と同じ目線で学びあいます。
- *より多くの人に新しい経験や自己研鑽の機会を提供します。
- *諸外国と日本を結ぶ架け橋(国際交流)の役割を担います。

私たちは、社会的に弱い立場の人々の自立を支援します。

- *主な支援対象である「子ども」に対して、ハード、ソフトの面から一人ひとりの未来を支えます。
- *国内外の災害救援時に被災者の自立を支えます。

私たちは、「できることからはじめよう」を実践します。

- *人を活かし、一人ひとりの個性や能力が発揮できる組織を目指します。

私たちは、活動に関わる全ての人々がお互いに理解し合える関係を築きます。

- *プロジェクトを成功させるために、支援に携わる人、支援を受ける人と良好な関係を築きます。

私たちは、常に現場のニーズに基づき活動します。

- *現場のニーズが活動の原点であり、その状況を直接調査し、見極めた上で事業を立案し活動します。
- *現場の人々と直接交り、汗を流し、助け合い、学びあいながら活動を進めます。

私たちは、皆さまからのご浄財を責任を持って効果的に活用します。

- *支援者の思いに応え、報告や連絡を丁寧に行い、信頼関係を構築します。

私たちは、活動を進めるにあたり危機管理を徹底します。

- *役職員、ボランティアの安全(危険予知と防止)と衛生管理を徹底し、活動環境を整備し、事故なく活動を継続させます。

私たちは、以上の行動基準について、ヒューマンパワーを結集させて実行すると共に、時代時代に適した内容であるかを定期的に見直し、改定していきます。

制定日:平成25年1月11日

JHP・学校をつくる会 代表理事

山内美江子

アカウンタビリティ・セルフチェック(ASC)への取り組み



Accountability Self-Check 2012

2016年3月25日、当会は国際協力NGOセンター(JANIC)が普及の中心となるASC2012にチャレンジし、必須項目は33のうち32、強化項目は8のうち6項目をクリアし、2010年2月に実施したときよりも6項目多くクリアすることができました。左のマークはJANICの「アカウンタビリティ・セルフチェック2012」マークです。JANICのアカウンタビリティ基準の4分野(組織運営・事業実施・会計・情報公開)についてJHPが適切に自己審査したことを示しています。2017年度以降もASC2012の全項目クリアに向けて組織力の強化を進めます。

認定NPO法人



JHP・学校をつくる会
JAPAN TEAM OF YOUNG HUMAN POWER

〒108-0014 東京都港区芝5-26-16 読売理工学院ビル6F

TEL 03-6435-0812 FAX 03-6435-0813

E-Mail tokyo-office@jhp.or.jp ホームページ: www.jhp.or.jp

Twitter: @JHP_tokyo Facebook: JHP・学校をつくる会

本書の印刷は株式会社プロネクサス様にご協力頂きました。